



# 高齢化に見る世界

～ グローバル化の真価が問われる時 ～

J12024  
Rina Kawamura

# OUTLINE

1. 高齢化について
2. 先進国と新興国の急速な高齢化
3. 生産年齢人口の減少と経済成長
4. 人口ピラミッドで見る経済大国の対策
5. 国別合計特殊出生率
6. 女性の社会進出と出産の関係
7. 手本にすべき世界の少子化対策とは？

# 1. 高齢化問題

## 日本の歩み

1970	「 <b>高齢化社会</b> 」突入 高齢化率 7.1%
1994	「 <b>高齢社会</b> 」突入 高齢化率 14.1%
2007	「 <b>超高齢社会</b> 」突入 高齢化率 21.5%
2013	高齢化率 25.1%

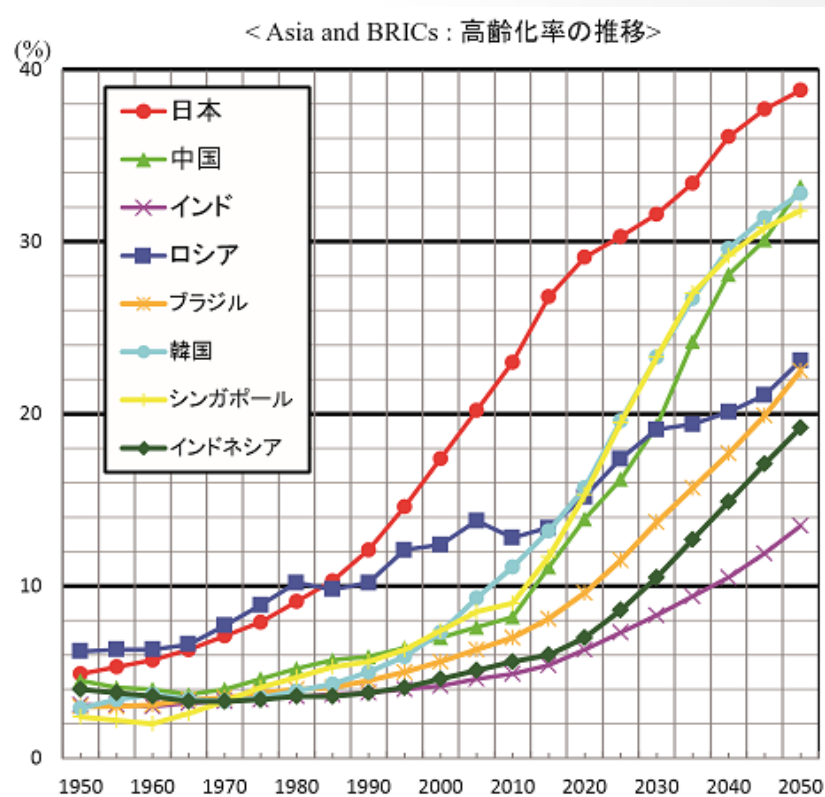
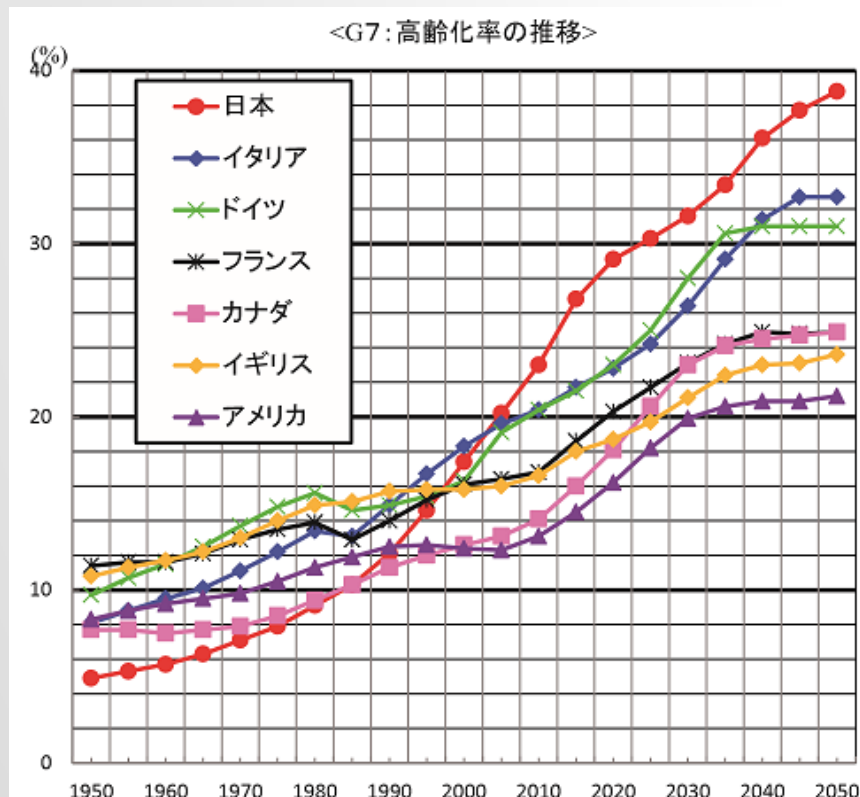
Sources: 内閣府「平成26年版高齢社会白書」

## 世界の現状と今後

1950	高齢化率 5.1%
2010	高齢化率 7.7%
2060	高齢化率 17.8% (見込み)

[http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2014/zenbun/s1\\_1\\_1.html](http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2014/zenbun/s1_1_1.html)  
[http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2014/zenbun/s1\\_1\\_5.html](http://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2014/zenbun/s1_1_5.html)

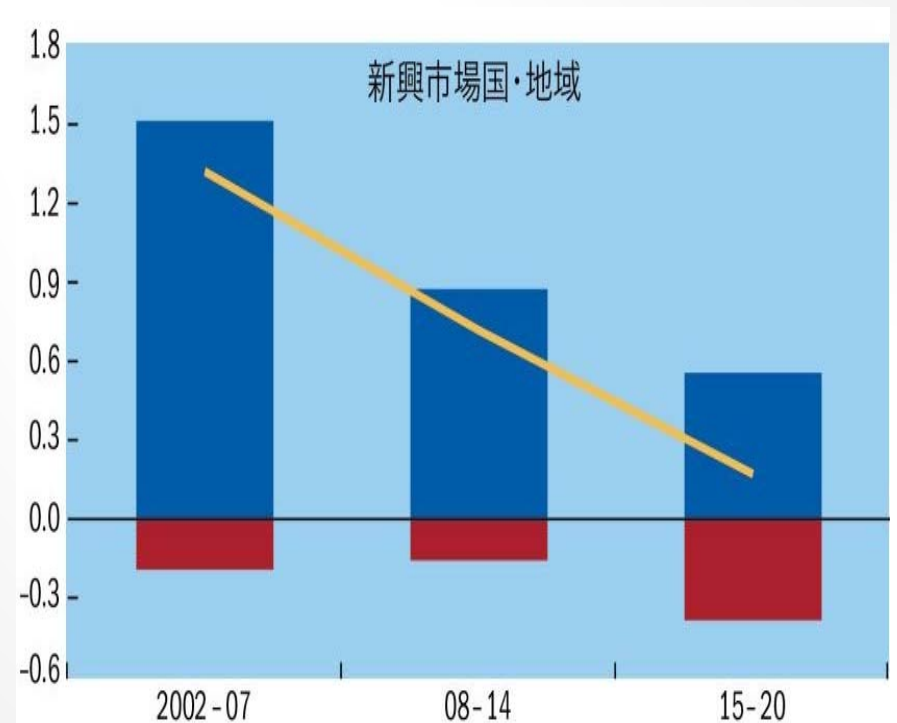
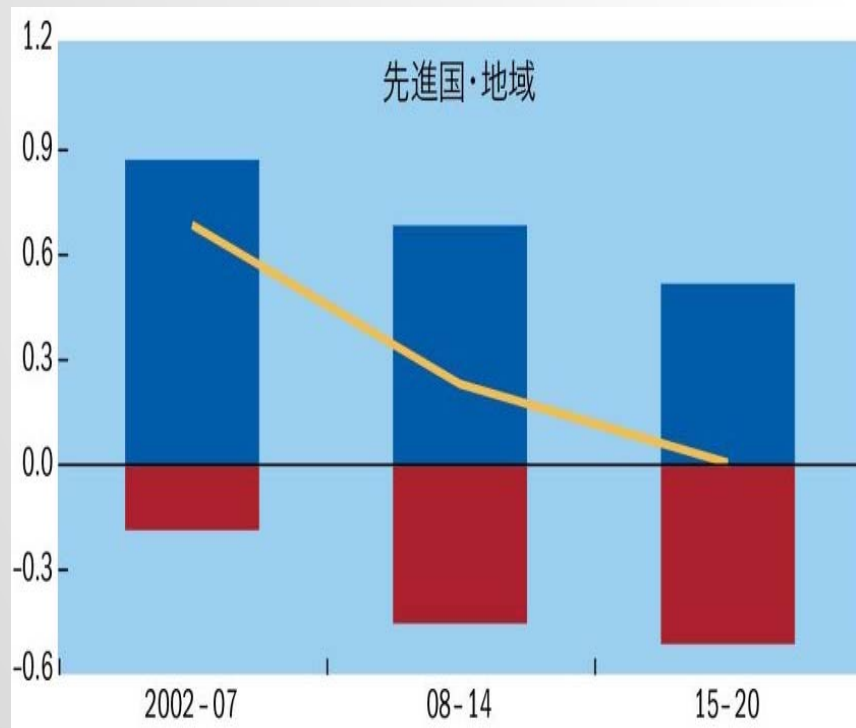
# 2.先進国と新興国の急速な世界高齢化



Sources: 平成25年版 情報通信白書 - <http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h25/pdf/>

# 3.生産年齢人口の減少と経済成長率

■ 生産年齢人口    ■ 高齢化による労働参加率    — 正味



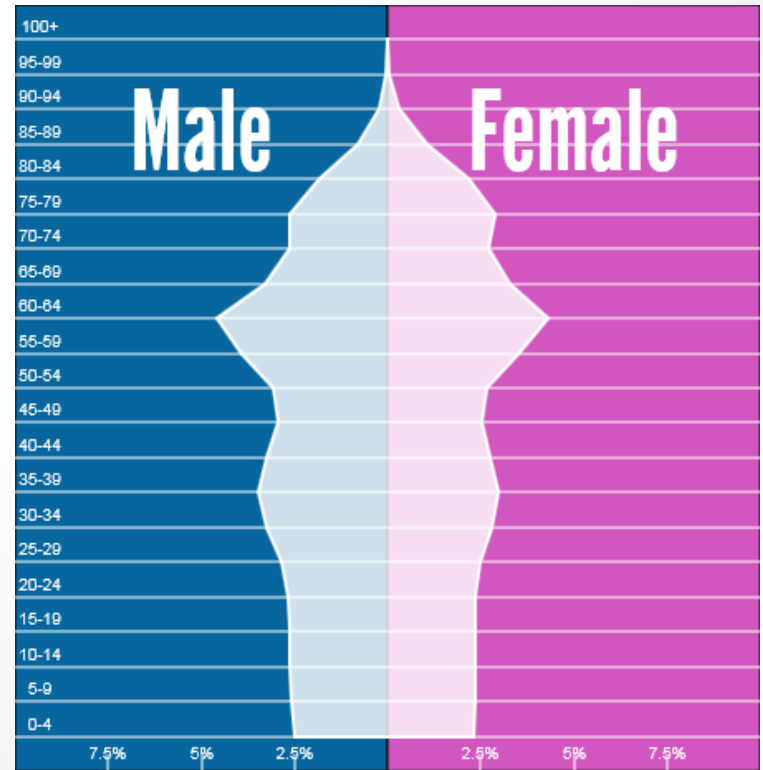
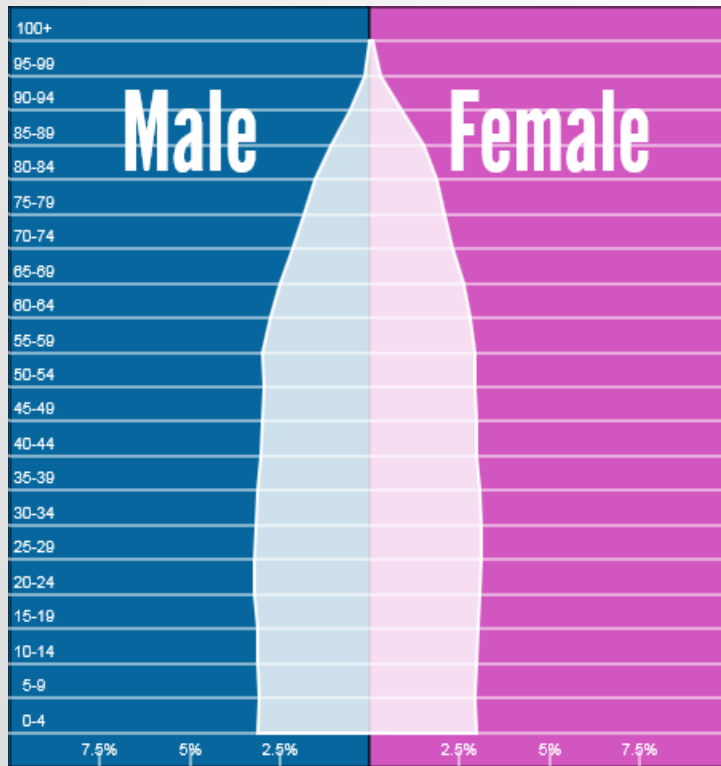
Sources: 国際通貨基金 – 潜在GDPの低下：新たな現実 <http://www.imf.org/external/Japanese/pubs/ft/survey/so/2015/NEW040715AJ.htm>

# 4.人口ピラミッドで見る経済大国の人口対策

AMERICA

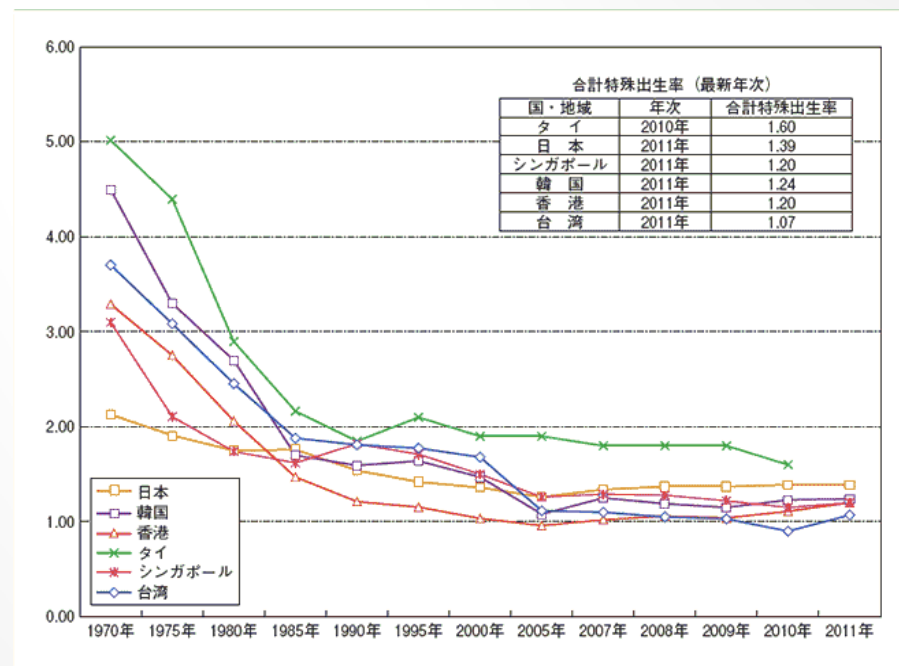
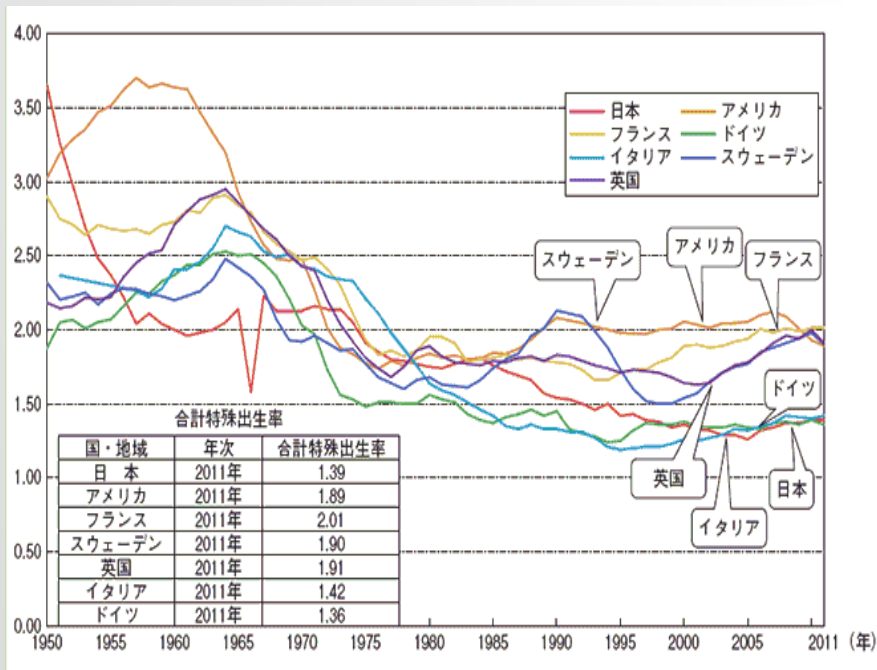
2050

CHINA



Sources: Population Pyramid of the World from 1950 to 2100 - <http://populationpyramid.net/>

# 5.国別合計特殊出生率



# 6. 女性の社会進出と出産の関係

1. 女性の社会進出による少子化の進行
2. 仕事と家庭（家事・子育て）の両立が可能になれば出生率は改善  
仕事と育児の両立 < 職の柔軟性による両立
3. 女性の社会進出による出生率の低下は両立度を引き上げることに  
よって緩和可能、仕事と家庭の両立が十分なら出生率は影響を受  
けない
4. 1980年以前から女性の社会進出が進んでいた国は両立度が高く、  
1980年以降から女性の社会進出が進んだ国の両立度は現在も低い



# 7. 手本にすべき世界の少子化対策は？

子育て支援の充実

VS

労働市場の柔軟化・移民受入

フランス

戦後1950年頃～

国民負担率 62.1%

スウェーデン

1970年頃～

国民負担率 58.2%

(日本国民負担率 39.8%)

アメリカ・イギリス

柔軟な労働市場



ワーキングペアレンツの定着



個人の事情に社会が適応



ロールモデルの増加



「働きながら子供を育てることが当たり前」に

Sources: 財務省 国民負担率の内訳の国際比較 (日米英独仏瑞)  
[http://www.mof.go.jp/tax\\_policy/summary/condition/020.htm](http://www.mof.go.jp/tax_policy/summary/condition/020.htm)

Sources: The Economist – The coming baby boom?  
<http://www.economist.com/blogs/buttonwood/2013/09/demography>